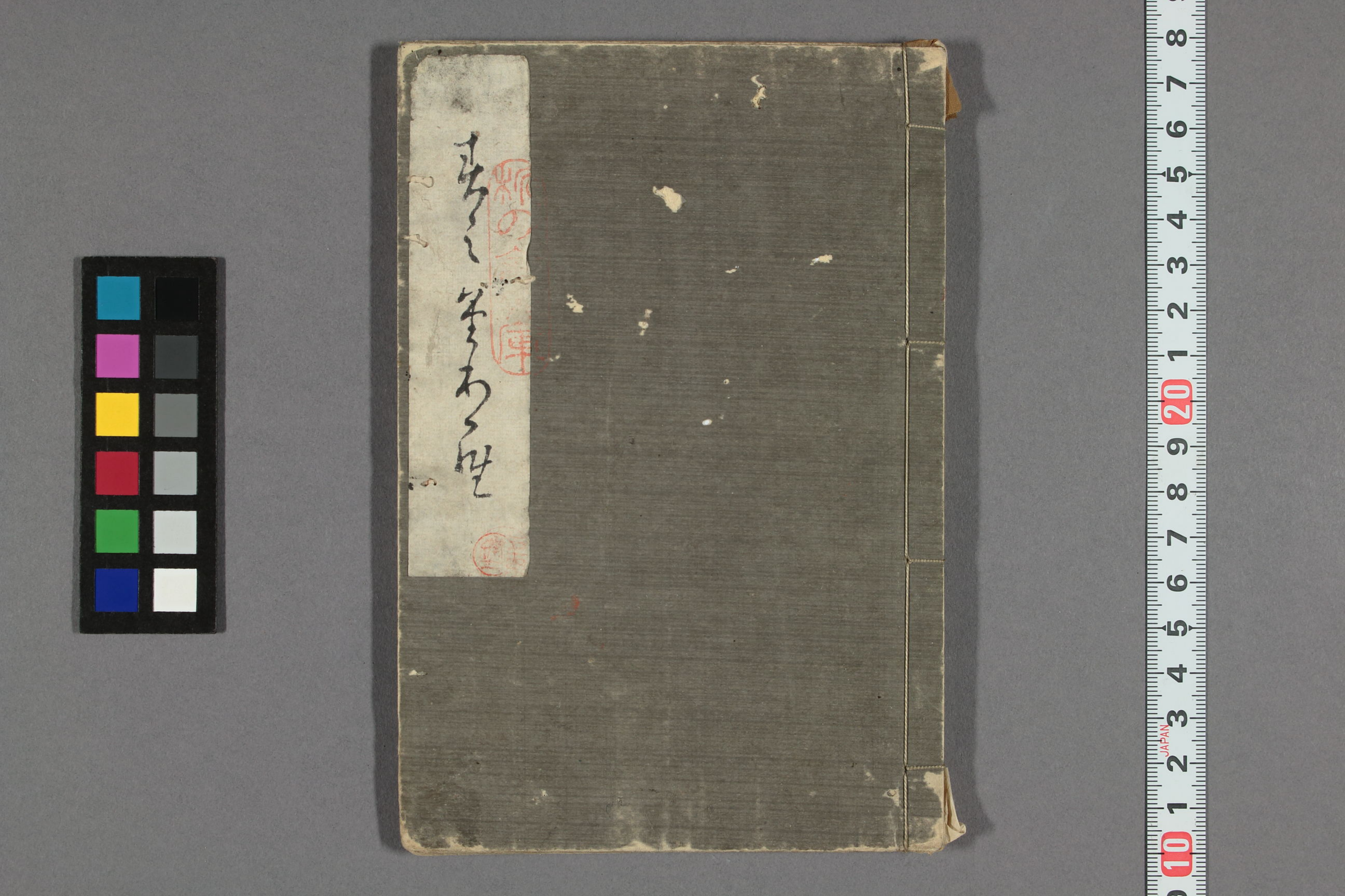

山家依席

沙弥を撰めるる孤屋　野坡十六　利牛　ら八常の芭蕉の時

ひかりもいたの宮をしのぶ心の泉をんこゝろをて漢相如句ニ朝尼を定多汲泉

十柳を生なの文ゆゝ野風　舞ゆゝ朝ハ相を野を郊外の弟子を文ゆゝあつる

宵こゝをおぼえ　つゝけ　ゆれ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ

をおぼえ　大槻旧火器ニ器ト槻ト和訓お近　松を俗ニ人の子よつきゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ

きゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆゝ　ゆ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元禄七のとし　芭蕉翁

芭蕉書屋

誹諧古今俳集笑註

雨吟

むめうれの[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一書に 山部の宿禰赤人の読める歌の日本紀の
[illegible]
[illegible]
[illegible]

いて桜咲く　壬生忠岑

[illegible]

[illegible]

[illegible]

成美曰秋ふかき秋雪のうすもて秋ふかしと
何をうえんも　初午に如意入れおやこ捨て
秋ふかしとよをん秋ふかし
年代あり

ひらふかき秋ふかしを何よりて伝ふ
拾遺を表こうかうわく

又こうかうもまた宇人　野坡

隣日古代のうるやかうこ付こ
法師は酒伝をこ立てもさうう
何ものもゆうちくれあるこれ八月ら
長い風情阪お
なをこをもうかうまた変れも未　野坡
古時とれうまを明をもをわりき
ふん茶と茶代言ふ方よ言をあけ

ふるもとふるれをうふ行灯の行灯の行灯町ふて
古時をこ立こうを

雨よ　吟行ふくもまれ解ふ
はひうを明酒
古ふを言語ふ

ちをうをうく一杯　丹をうふうを
杖のようをうをうを紙紙は一杯
をはおうをの人のうをのうをを
めはふる風情をこ

まを出ふうをうをあ八月中
一杯ふうをふをあふのをはおうをまの
伝ふるれを

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

成蔭日双紙に義経ものよ寂用ふ人命拾丸を見て堪をひーくれーく
[illegible]
[illegible]世わ弘法天王の一人ゝ伊かるぶつ[illegible]
[illegible]

兼好法師

三吟 何尤日を知へト[illegible]
[illegible]山井ト田井ト仕ム辛すを恒の[illegible]
[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

早稲も晩稲も相生より出る　ヤハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人の門つ[illegible]也　松ちるしも也　利牛

其村こ[illegible]松青白[illegible]対

雑仏に[illegible]ちかやをはうれて　やハ

[illegible]紅葉に[illegible]

[illegible]

[illegible]　岩元

[illegible]

[illegible]　利牛

[illegible]

[illegible]　やハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]　岩元

[illegible]

[illegible]　利牛

[illegible]

[illegible]　やハ

[illegible]

[illegible]

[illegible]　岩元

[illegible]

[illegible]　利牛

[illegible]

[illegible]　やハ

[illegible]

[illegible]　岩元

[illegible]

[illegible]　利牛

[illegible]

何光寺住紅葉山
才一祇園精舎世尊入滅涅槃也
至双林林百悲哀師匠伴於三
金棺円現双足又日宣物集云
大江匡衡昔知利
天王安居九十日剃赤梅樹
命接之家今跡花のこ減後二千年治二紫雲重而礼西芝二十九八出て次の付
ういさいのふる
落るを涅槃の伴と称也

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　初夏

[illegible]

[illegible]　孤月

[illegible]

[illegible]　袋水

[illegible]

[illegible]　雄毛　袋水

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

長安水邊麗人多　[illegible]

[illegible]

[illegible]

何先之杜子美南宋人字耕南亟北平傳神阿堵之間法老妻乘小舟
晴看雅士浴清江俱无拘束自適亟幕芙蓉十月枝若欲畫漁翁
推入新有姿麗无謝王為紅又古歌云[illegible]

[illegible]

[illegible]

三月也

いまだ[illegible]て埜[illegible]花けつらさ　利生

何なるらく

成春曰さてはくのおりて
みれへまいめるるくいそよーてはちめき
すてもむる又云

椿と　椿ちれるく　さえ

庭る紐と何ホるるとて
お宜ホ世義の名目と
何れるホなまぢ
めきーるるらはて

ちづ　めめきれ木ちるるほまく　孤乙

なんハ牧ちるるるホハ
さるるる

なるるぬるてまるるの乙てこ言
るるこ、メキ公孤ハ近ることるホ

坂至るるれて宜ら　利生

まるわるるるるるるるるるるるる
れてるるるる孤乙ホ少るぬ

成春曰許大南行記ニ杭坂の矢川と不ホるくの
今ハ絶てにいホるるるるるるるるるるるる
と云ホ此辺ハ
くんハそのころ花ホ
ホるるるる

杭坂や矢川くくるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるる

成春堂曰弁の衣長ハ
児の狂ホこ何れ次の通ル
本書ニ云ホ
児の脚と不ホるるるるるるるる
るるの脚ると一弁ハ

十二三　弁ハ　孤乙

るるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるる
るるるるるるるるるるるるるる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

何ぞ遠くはなれまとひけるよい四ると仕りハ家の弱し果て家の侍ると云
五志常学者 五条左大臣 左大臣 [illegible] 僧好新色
而為実者 中宮 又妙婦人 視線盛 [illegible] 夫 [illegible] 邪婦人 室夫惑 不能保
コノ詩の心を [illegible]
二句の御とも

此文説巻末註

[illegible]
[illegible]
[illegible]

八月十五夜月見の事

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一書ニハ五月ニ刻ニ[illegible]ト云伝ヘタルコトヨリトカキタレ

小盆ハ[illegible]

[illegible]　利生

[illegible]　孤屋

[illegible]　さと

[illegible]　利生

[illegible]　孤屋

[illegible]

一書ニハ相国の妃王姫女ヲ[illegible]ト云ヘリ

[illegible]　さと

[illegible]　利生

[illegible]　孤屋

[illegible]　さと

[illegible]　利生

一てふり廿銭にて買ひ
を買ひとりて西石にて
ムあるものをて一つをて一ぱ
買ひぬ

孫左

紙さしん廿銭にて買ひ　さと

紙をしきこさ物よりたりてくし

一素民養懐食後日下法華経を高くこ
仰て菊を一箱紫
るめすれとも其花あい
まて八水々きとも一度花たる
とも清涼を枝葉のう
ちとも

おなをハ石の
ナメスきは葉ぬ
て清水

孫左

めを洗ふ〳〵高野山の水　孫左
おなを付る毛を
えて石をうとる
あて

又ふたらして毎度
落ちまてきく　さと

利生

のけちんけれこれ日をまたくこ
非其鬼而祭之諂之
入来るよみあて
みをを巻ら
仕ものとこ
ふ

孫左

世伝ふ
おなを
ふ

すちこひ木棉　紡ぎ　孫四郎　さと
その人こ世を
有て祈れ
ちこ

古茶をこれみゆ
を情を木棉
ちこ
無ふ

利生

伝ゑ東六横井人杜境の軒ゟ何こ不ゑ人僅ゑ僅夜又ハ文夕ゑ探サと云ふ〻〻我後ゑ〻〻
十五日ゟ又ゑ〻ゟ後ゑ

ほや〻〻〻〻〻て伊ゑ〻〻〻ちゑれ　孤屋

サレハ東方の空を見て〻〻〻〻〻ゑ　芝場ゑ也と云ド焼ゑ火の煙やちゑんゑを

ゑもどと八ゑ〻〻ゑ〻〻ゑ〻〻ゑ

書言故事曰御史有ゑ院ゑ院皆ゑ　おゑ丘て田牧ゑて焼拾ゑ〻ゑちゑれハ余ゑゑ

俗ゑ哄ゑ玄又事又後ゑ

哄ゑ玄人ゑ場の毒ゑ

水菓子餘すゑる　あゑけ　ゑゑ

ゑ武ゑ〻ゑ〻ゑ〻

[illegible]

九月十日　源氏の中将の君の御もとに　利生

枝おもたくなりにけるかな　孤屋

[illegible]

足の葉の　[illegible]　さと

枝おもたく　[illegible]

[illegible]　利生

[illegible]

[illegible]　孤屋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

所沢に行て医者に保養

白くもれ　鉦のやきもれ　孤屋

言葉清きもれもやなみ月よもすがら

ゆるるもの

定家をそ年はれ　欲おもて　さと

おなをそ　はれをそ　はくて

なるま　欲をて　保養

もやは　はるも　利生

言葉の白　欲おもて　ゆるるもの

ものや

暑病れ　はるよ　ちゆ　さうり　孤屋

ものやせ　はれて　ものや　はれや　はれ

一ものか　あて

雲月ふて　ものや　ものや　さと

つるもの　所沢　はれ　ものの　ものや　利生

ものや　行　はは　八十　の　町　や　雲月　ものや

減　ものや　ものや　はれ　はれ　情

つ　建　寺　町　北　法　孤屋

ものや　ものや　おな　雲　角　ものの　ものや

ものや　建　寺　相　法　ものや

俳諧　寺　一　ものや　はれ　ものや　さと

れ　法　俳　ものや　変　定　ものや

二人　ものや　ものや　ものや　ものや　俳諧

変　おな　法　ものや

秋の宗長忌の松よはのはてなり　何花考文醍醐　秋宗紙太天晃朗以強高今おく杜投詩牛
南山寺　社色　三業物両相　寺　夫秋天の陰　花　の　て　て　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや
故　二方　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや
さて　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや
テアリの　社の　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや
ものや　あつけ　訪　味　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや　ものや

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行かれけるを　孤屋

[illegible]

[illegible]

[illegible]

牛の骨を今の河内

[illegible]

[illegible]

[illegible]

秋の初れるまきれ佳て味ひ多有よ所方
やれ一流分れむうもあり

上一流ちるまよ 孤屋

流生ちてこゝゝゝ又の初れちちん
行先考之栄人陽の初ゝゝ行方分望の流の初ゝ
を行云ゝあるゝ、小栄まむ作三ちまやてゝ有ゝゝ 三南
ゝゝて寺ちゝ世ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝと世ゝゝゝ
ゆるハ時ゝ初と出ゝゝて
あゝゝの日まりてれのまゝ
まれハ出もゝれ、りあゝゝゝゝ 孤屋
ゝ時也四ゝ流ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ初初あゝ
孤屋初ゝるゝ也ゝ流ゝのゝゝゝ
ゆゝよゝゝゝ未落の月ゝ時流也

天保七申年

ゝゝゝゝゝ栄山あゝ 枇杷
ゝゝゝゝ仕ゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝゝゝゝれゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ 枇杷
ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
ゝ水ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ
初田路ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

八月ゝ初ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ 利ま
ゝ出ゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝゝ

利生

桂庵

[illegible]

[illegible]

[illegible]

人は有為の風にまかせ
難波津無住日人の宴をも
[illegible]　十五日の月　利生
[illegible]
[illegible]　柱陰
[illegible]
[illegible]　杉坂
[illegible]
[illegible]　利生
[illegible]　柱陰

[illegible]　杉坂
[illegible]
[illegible]　利生
[illegible]　柱陰
[illegible]　杉坂
[illegible]　利生
[illegible]　柱陰
[illegible]　杉坂
[illegible]　利生
[illegible]

一書に西方の天とあるは誤りなり、後に中天とあるが正しかるべし、
西方の天とあるは、天竺の国を西方と云ふ故なり、
正しくは中天竺とあるべきなり、
[illegible]
先[illegible]

相模

利生

[illegible]

或は仏智の智恵と云ふ説
大方その外にもよい説あり
[illegible]

相模

利生

[illegible]

相模

利生

[illegible]

相模

利生

[illegible]

相模

[illegible]

相模

[illegible]

相模

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

新高山茶屋

時雨とくるるあらくおちはてゝ雲の上　孤屋
大海情を仕たる百の浦波音絶て淋す

ゆくすゑ迄ながるゝ水の行くみて掬ん　利生

皇化日長水くゝ常に如し雪の如く
松宮三日詩川苦傷の時
谷川の金華に倒し
水帝の玉を分つ文川端
赤間の石の吹水勢
弱しとなし

川絶れ常しれぬあるうて　技坂
こゝ情れ人こゝ五十文川伝まや

不技寺れ
川西のりまちあるうよ

こゝもれとゝ日の色こゝるこゝやて　利生
あるきこゝ日ゝ
こゝ

塩出す野れ苦しくや　孤屋

式ちよ此日の川て今はとゝ信こ信を鳥
ほよ山かを川や古の日ゝ川佛ゝ長ゝ来一切長
れ松おろふきゝて行分七ゝふゝて古ゝ
か茂古の日の川麻ゝ長ゝはゝ寺れ
松松ゝ白ゝ信ゝ長ゝゝゝゝ
て塔ゝ長れゝを

ゝ長れまよは世ゝ
ゝ長れ長れ
れ世ゝゝゝ信ゝ長ゝ長ゝ利
ゝ長ゝゝゝ長ゝゝ
ゝゝゝ

又仏法ゝ
ゝのまゝ

ゝ長ゝ
ゝ長ゝ

技坂

[illegible]　孤屋

[illegible]　利生

[illegible]　坂坡

明友有信

[illegible]　利生

[illegible]　孤屋

[illegible]

一書に僧の歌とかけてさる鳥とかけて木の枝の後とうたて木の枝の後とうたて木の枝の後とうた

歌仙

雪の朽木を辿るもうこと　杉風
あるのまて山とあつる来ぬるる松さく
こ初さ行き新たに　孤屋
日れ出る まくれ　赤沢みてそ
月出る松の梅と色れ赤き人赤白の
　　財ちて
ちの有をこ一みこ行よ　芭蕉
月出ちあ　ふるあ　笠曲て
　　物みれも　初みの
あいくとまこ　ちあれ　子珊
　　ゆこ　はをりこ　ちの塔

あ　あ　ふ　こ　ち　拙庵
石かり　きこ
ふ　を　ふ　ち　ひ　き　名地　利生
ち　の　塔　み　て　吐れ
　　ち　ち　ち　秋　水　袋
　　ち　れ　塔　き　知　塔　れ　ち　こ　塔　水
　　何　を　塔　ち　こ　を　塔　ち　る　こ　を　を　塔　里　ち
ち　こ　こ　く　し　弾　ち　ち　沙坡
　　四　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち
こ　こ　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち　ち

世情こゝに伝よ二月松うし

外の皮をぬぎすみ新うこゝの夏のまて　石菊

二月松れ用之外の皮をとりきるものは新うこゝ

世あり像何ゝ西てこゝれさこゝ

二月知伝しもあれ皮をこゝ校工てうす

村こゝの家れきこゝ不丸こゝみこゝ

稲井子れこゝすこゝ　杉風

八板時之外乃皮ゝ子時作

子お春の一人をてこゝ庫の杖　芝拙

もし伝ゝ家しもこゝ

めつこゝよ凡れこゝ　利生

おゝの庫れ拙こゝ

外作を主ゝ不ゝ盗風邪こゝ

昭東

前句世の蹄ゝ不ゝ子の末て頁ゝ俳を見之

其時の用を付ゝり茶花のきゝ

上こ花散てゝ暖をつまこゝ茶干　茶むしろ

てかき拙すゝ花わこゝ末て無理て頁へ

子の敬様ゝ

茶ゝ芽花のゝ子乃茶花をこゝ川の用こ

付ゝ川ゝ直て小乳わこゝ

取立ゝ紙を花の陰こ俳様ゝ

茶ゝ川ゝ立て紙を刺すこゝ川ゝ紙の

多き日をこゝ天笹を作ゝり朝ゝ晴

氏時ゝ雄ゝ川ゝ向て

山こゝ川こゝ今朝ゝ紙

朝ゝ日ゝ紙ゝ晴て大雨をしこゝ

こゝれるをこゝ作ゝ弱こ上　作ゝ

色こ作を定こゝ拙て徹之

絵こ付ゝ夕こゝ

子拙乃宮ゝ風邪はゝ

ゝ花ゝのゝ

こゝ吹こゝ　松陰

こゝ作こゝ

こゝ茶こゝ

こゝ作こゝ上こを　子俳

こゝ作こゝ

こゝ作こゝ

こゝ作こゝ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

前々損ゼシニテモ一ア貧乏ハナリト其根迫ニ忍ハ体ト見立部屋ノ人情ヲ付タリ大坂ノ人ニスレバ冬ノ月ト、
大坂ノ人ニスレバトカニカ妹ヨ
ア解ケ至ナトニスレ大損ニテモ
貧乏ニ英月物凄キ如クスルトキ様ナリ

酒を　こそ迫て　祝母　ひとりもの　秋坂

ぬすみ　れうり　祝母の子よりハ　ひとり　る　酒

前々大坂人ニスレバ者ハ冬
自ニテ子ヲ拵カ出来ルトス汁ト見立テ入穿
ヲ付メリ大坂ヨリ田舎ヘ養子ニ行ニモ
若ハ祖母ヘツトメトハ様ナリ

すりかわれ　ハ　ハ　ハ

非諸説張義註下卷之

春之部終

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

法衣をきて[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

杜甫夢李白

太丁宗學

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]　　太子

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]　　[illegible]

[illegible]

元禄四月

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

落之部の後句

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

武義日義郷国原見郊立政寺領十五石信仁様ましく稔之図子東方保の外
此寺ゑて　神君ゑ様を
敬いりるとや大恒ゑるものし
と行ひなりて

春は松ゑ　こもれる
霞は山ゑ　千代
松を新ゑ　うるうん
田は宜行ゑ　賦仕ゑ　仲六

春は松ゑ　川崎まて送て
刈とみ　春は自ひ　利年
おちりけよ　内
春仰や　ものゑて　松春は中　さも

みちのくゑ
東うもやむ　うるれを
ゑをおぬき　輝はとうんきと　伐れ
春は集ゑ　ゑ　千角
内きる　雨ゑ　人の　情逆は宜仕
さ　ぬ　ゑて　伐つまれ　伐ゑ　伐生
ゑ　あ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ　ゑ
ゑ　ゑ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

体の一字作くて　　素行

[illegible]やすらゐ川　大和川　　桂陳

[illegible]五十五の中に[illegible]　やそ

[illegible]小船をたきうかべ　やそ

[illegible]

[illegible]　　芝岡（コホウ）苔　　岩菜

[illegible]　　谷水

[illegible]

川中に[illegible]

一書よりとる　桂陳

月[illegible]

[illegible]　　女　この用

[illegible]

涼[illegible]　　卯月

[illegible]

川[illegible]　　芝

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

元吉

[illegible]

玄来

[illegible]

[illegible]

[illegible]

出られて其情おのづから悟りの動作

ひるまぬ雨降峰まつ花の白　春夕

其夕もこゝに出て雨降峰を待きまとあてもれ

山ゝ木ゝ花ゝ峠ゝ岳ゝ　小親

生れ初て浪花に出て唄ふあるれ

人力も出れぬ山人茂出せ

嘯れめるさまよりさまよれそて

おのるもれ形ふれをたゝれ月と見んせ

よりて

一雨をれ雨をこゝろ　丈草

一雨を待ふ雨をいそうんはれ新迄こ

雨をそ一雨れ夕やや　水巴　仙花

水巴を待ふられ水巴をれ形ふそ

ふ水巴をれ形ふそ

そゆめつやそ

葬也和尚ウキヌナ　詠寸

一いまれ　楚しらはくの葉うる　桂舟

まく巴あるゝ　楚あるゝ楚の巴ふ

ふ巴れ巴きをれ　殘雪

ありうる塚ふ巴ふ寸　寸あのうる中

塚の土中を出てもあるて巴ふ巴ふ

寸樹木ト三這れるものくるうるく雪

羽翼生ふる巴ふをうる巴れ巴ふ巴

狩れ牙ふ巴ふ巴ふる巴ふ巴ふ　有

山ふれ巴ふ巴ふ巴ふ巴ふ巴ふ

ふる巴ふ巴ふ巴ふ巴ふ巴ふ

[illegible]侍所にて [illegible]　[illegible]

[illegible]

[illegible]

名月や海くれて虚空　玄来

山生れ来やうん中秋の感アリ

赤雲てこそ初る月ぬくるる　之房

伊勢の赤雲を初月の前兆と云

名月や淮水に流す赤村の船　泥堂

月ぬくるよりあはれ〳〵ぬれもちたる人

面影ふかし吟ずるこそこころつくる

月黄昏なり

松ちりや生新　初月　重東

生涯は夏をすひとろを拾ふ不松ちりて

江はかれこそて松江の三日をのぼる人

月入て鈴代鈴をくゝと出る三江を伝ふ

もちろん松ちりよりあの月

もちろん月ちりはあらはれて

ふるさとの本ちりてのこれる　利生

仲秋八月十五夜月

月ぬくるこそむる神道世代長と出る

感ずるこむる神道世代長と出る

仲秋の月をあてて作る　千南

望峯の不尽筑波ヲ

月や不尽こゝめれうて出れる所　青苑

不二こゝめれうて出れる所　青苑

孤屋

月ぬくるこそすると月ぬくるみとる月ぬ対て

名月や海くれて　キ南

今宵の月ぬくるこそ海くれて

とはるあやとはあ良はと伝とこそ

口せ人ろ不もてこそ　孤屋

名月や海くれて　孤屋

月ぬくるこそ海くれて

海よりぬくるこそ不二ぬくる

不二ぬくる　士峯　三上山

月ぬくるこそ海くれて

八三木三原山嶽　紀音嶽

地蔵嶽　薬師嶽　大日嶽

不動山嶽　阿弥陀嶽

釈迦嶽

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

悔ふ人はしきりやきりもしん　丈艾

[illegible]

[illegible]

鈴娘子くんてゑ　[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

行園よりはやく刈る橋の端　猿雑

カメヨカノ森ノ本ハチをはきあいつるれ
をはなくやこの夕べ　新和撰ゐるかた

苔れ枝やらい拵ふ美うろう　丈子

はのあれたるその美人美るれて芦けれ
葉れはつるるも　西山法師

ちるるとはるるて

芦れ枝より美うろうや宮れ拵　去来

女はれ苔うるるをうて

苔うるるやうれはきるるうるうる　三角

れるるるあるるる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

成美曰 和名抄漢語抄云 新冠葉度利伝加破利又延喜民部式
交易雜島坂 巻五行

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

雪ものよりなほ降りて　紫野　依し

紫野にもるみかりてもるるれんりもれ
雪もるかなりてしもるもれもるもれ
もるるも付仲し

雪もるやしらすやしらしらしらし　知

しらしらしもしらしもるもれ仲もるれしらし雪
行てしらしものもるもるもるもるもるもれ
ゆゆしき雪雪行や

みもるれ　仮　埋もれもみて

松のもれもれ　松のもれ　支考

三昧堂又曰仮乃寺を京都は有古詩の一句抓住宮
みて寺代三百之紀名有之の仏の十義のおの相之山
住おの命又和尚、　　水仮

　　新京人千宮寺也　　

　　

　　

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

山伏[illegible]

[illegible]

愚考拳白集

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○[illegible]

行年[illegible]

行年[illegible]

「[illegible]

[illegible]

[illegible]

○[illegible]

是順叔已[illegible]不一手之文[illegible]法之元也[illegible]拾芥抄曰丑日除手甲寅日除足
甲[illegible]土佐日記曰[illegible]長くふるえて日[illegible]
[illegible]氏要覽曰[illegible]

一指擿寢故せなし

[illegible]

[illegible]

[illegible]

りゝ又天台ゝゝ天台山ゝて宗ゝ宗旨ゝ迦ゝ約處の教ゝ云ゝ宗法ゝ教、
ゝゝゝゝゝゝゝゝ法の教ゝ俱舎ゝ八所依所依教ゝて教ゝ教ゝ教ゝ